



カワセミハウス通信 29号



カワセミハウスシンボル
こもれびくん©蟹江杏

2024年5月

日野市立カワセミハウスは、日野市を象徴する緑と清流に包まれた黒川清流公園のすぐ近くにある、人と人をつなぎ「プラスアルファ」を生み出す場所です。

《だれでも気軽に来られる、居心地の良い居場所づくりを目指しています!》

カワセミハウスの講座・イベント・活動《概ね5月～翌7月》

カワセミランドが 開催されました

3月31日に開催されたカワセミランドに学生団体 C-plant も参加させていただきました。私たちはゲームやおにぎりくじ作りを担当しました。

カワセミハウスに入ると机の上には様々な種類のボードゲームが準備されており、子どもたちと一緒に挑戦しました。頭を使って考えながら進めていくゲームや小さなボールを投げるゲームなど、魅力的なものばかりで私たち学生も子どもたちと一緒に熱中してしまいました。

おにぎり作りでは、アルファ米を使用し、ふりかけとカラーラップで可愛らしいおにぎりが完成しました。作ったおにぎりにひもを取り付け、ひもを引くまでどのおにぎりが当たるか分からない「おにぎりくじ」を開催しました。ランダムに当たりを作成し、当たりのおにぎりを引いた参加者にはお菓子をプレゼントしました。子どもから大人まで多くの方々にご参加いただき、炊飯を3回するほどの大人気でした。「おいしかったです」という言葉をいただけてとても嬉しかったです。多くの方々に楽しんでいただくことができ良かったです。

ゲームやおにぎりくじを通じて多くの方々と楽しく関わることができ、とても充実した一日を過ごすことができました。参加させていただきありがとうございます。

学生団体 C-plant 前土佐 栞佳

3月31日第二回目のカワセミランドを開催しました。ちょうど桜の見頃や近隣のイベントと重なりスロースタートとなったものの、今回も沢山の方におこしいいただき、本当にありがとうございます。



▲ボードゲームをしてあそびました。
▼ベーゴマや竹とんぼであそびました。

▶おにぎりくじの完成です。



▶おにぎりくじは大盛況でした。



カワセミハウス職員の榎原さんのお声がけのもと、ボードゲームだけでなく、美好会の皆さまによるお手玉や折り紙、外ではベーゴマのやすけさん・竹とんぼの大金さんによるスキルトイが大人気! 学生団体 C-plant さんのお手伝いによるアルファ米を使ったおにぎりおみくじや、市民サポートセンター日野の皆様フェアトレードコーヒー&クッキーと、多くのブースが集まりました。いらっしゃった皆様はもちろんですが、参加ブース同士でのつながりも出来たことが良かったなあと感じています。

このカワセミランドの開催ルーツには、「世代を越えて一緒に遊びを通してコミュニケーションを楽しめる時間を作りたい」という思いが込められています。これからも毎年恒例となっていく事を願っています。とはいっても、まだまだ成長段階のイベントです。どうぞ、こんな事をやってみたい、こんなことが出来たらいいな等、いろんなアイデアをお持ちの方や出店希望の方は是非職員へお声がけください!

みかんこと 田浦 美香



農林水産省『つなぐ棚田遺産』令和5年度感謝状贈呈団体に
実践女子大学 須賀ゼミが選ばれました。



▲布川地区の美しい棚田群



『つなぐ棚田遺産』は、農林水産省が全国の棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対する理解をはかることを目的として実施しているものです。

須賀ゼミでは、都市農村の本質的な支え合いの関係を作ることで過疎地域の活性化につなげ、都会にはない豊かさを得る「まちの居場所づくりプロジェクト」の実践フィールドとして、新潟県十日町市の「布川の棚田群」で活動してきました。これまでに、布川では田植えや稲刈り、季節のお祭りへの参加、日野ではカワセミハウスで行う布川ファーマーズマーケットの開催、オクトーバーフェストや学園祭での活動内容の発信などをおこなっています。布川での活動は、実践の学生だけでなく、日野市職員や日野市民の方々と一緒に、交流を深めてきました。布川ファーマーズマーケットでは、季節ごとの農産物の販売だけでなく布川地区の方々と交流したり、布川の野菜を使った料理をしたりして、日野からも布川への関心を持つ人が生まれ、増えていくことを願いながら開催してきました。「つなぐ棚田遺産感謝状」は、このカワセミハウスでの活動が高く評価されたものです。

▲つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～ ロゴマーク

▼山里くらしカルタ実施の様子



布川との活動は、高齢化・人口減少がすすむ地域をどう支えるかを考えさせてくれます。これからも、布川の暮らしや文化、そしてまちの魅力を守りながら、さらなる発展を目標に活動を続けていきます。

実践女子大学須賀ゼミ 小野柚紀

「つんで、つくって、たべよう！よもぎだんご」

3月16日(土) 開催
カワセミハウス協議会環境分科会
実践女子大学須賀ゼミ生



▲よもぎ摘み

毎年恒例となった、ヨモギを摘んでよもぎだんごを作って食べるイベントです。今回は公募の12名(大人6名、子ども6名)と同伴者4名、計16名を迎えて開催しました。スタッフは実践女子大学の学生12名と環境分科会有志4名です。

お天気に恵まれ、屋外で楽しくヨモギ摘みをしながら、食べられる草、食べられない草も観察しました。

ヨモギ摘みのあとは、ヨモギのごみ取りです。市販の野菜と違って野のものを食べるのはとても手間がかかることを皆さん実感できたことでしょう。そのあとは、ヨモギをゆでて刻んですり鉢で摺ったり、白玉粉に混ぜてだんごをこねて丸めたりする作業を、子どもも大人も楽しんでやっていました。



▲よもぎを洗う



▲茹でたよもぎをすりつぶ



最後は器に盛り付けてゆで小豆を添えて、おいしいよもぎだんごを皆で食べました。よもぎと一緒に摘んできたノゲシとカラスノエンドウもゆでていただきましたが、こちらも好評でした。

参加者からは「よもぎを摘むところから体験させてもらい、とてもためになり、おいしかったし楽しかった」「普段食べない野草を食べられて貴重な経験になった」「よもぎだんごがおいしかった」「よもぎをすりつぶすのがむずかしかった」といった感想が聞かれました。

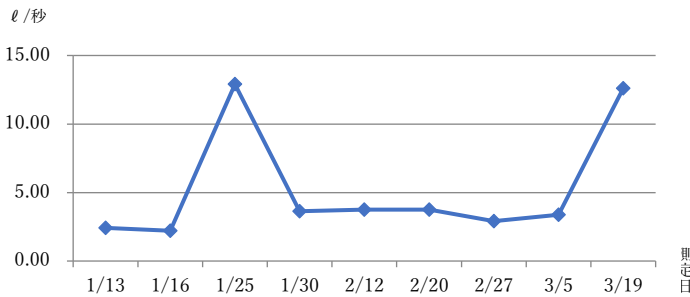
カワセミハウス 村岡明代

◀よもぎだんご、出来あがり

カワセミハウスの調査・報告

黒川清流公園 水路(あずまや池出口)での湧水量測定結果(2024年1月~3月)

カワセミハウスで、2017年4月より開始した湧水量の観測は8年目に入りました。



測定月	1月	2月	3月
平均流量(l/s)	5.3	3.5	8.0
月間推定流量(t)	14,196	8,770	21,427
降水量(mm)	41.5	74.5	182.5

2024年1月から3月まで3か月間の推定流量は44,393tで、2023年10月から12月まで3か月間の推定流量(69,587t)の0.63倍になりました。

流量に関連する降水量は、1月から3月まで298.5mmで、10月から12月までの154.0mmの1.9倍でした。

《日野市立カワセミハウス調査報告『日野市黒川清流公園から流出する湧水量の変動』カワセミハウス通信特別号》を発行しました。

日野市黒川清流公園から流出する湧水量の変動



カワセミハウスは、2017年4月に現在地に開設されました。

黒川清流公園はカワセミハウスのすぐそばにあり、そこから流出する湧水を観測することにしました。観測の時には真夏日や真冬日もありましたが、週に1回行いました。

本報告書は、5年間の観測結果をまとめた想いの詰まったものです。

あずまや池出口水路の湧水量は、1.53ℓ/秒から40.3ℓ/秒まで変動し、5年間の平均は11.2ℓ/秒となりました。

環境を理解するためには、長期間の観測が大切で、観測は現在も継続しています。

カワセミハウス 小倉紀雄

TOPIC

黒川清流公園の初夏を彩る花

『ミズキ』

ミズキ科 ミズキ属 落葉高木(10~20m) 花期 5~6月 丘陵~山地 水辺に多い。

樹液が豊富で、とくに春先に枝を折ると、水のようにしたたり落ちることからこの名がついた。

葉は互生、枝先に集まってつく。枝は紅紫色を帯びるが、展開したばかりの葉は淡緑色で美しい。水平に広がった枝が段々になって、特徴のある樹形になる。

花は枝先に散房花序(花軸に付く花の柄が、全体がドーム状になる)を出し、小さな白い花を密につける。花序の枝は果実が熟すころには赤くなる。

材は白色で節がないので、コマやコケシに使われる。1月のどんど焼きの時、だんごを刺す時に使う地方もある。

☺️ <黒川清流公園ではあずまや池手前でみられます。>

『クマノミズキ』

ミズキ科 ミズキ属 落葉高木(8~12m) 花期 6~7月 丘陵~山地の林内。

名前の由来は、はじめて発見された三重県熊野にちなんだもの。

葉は対生。枝先に集まってつく、葉はミズキより細長い。

☺️ <ひょうたん池手前水路沿いに大木が見られます。名札が付いています。>

『ミゾホオズキ』

ハエドクソウ科 ミゾホオズキ属 多年草 花期 6~8月

山地の林道沿いの湧水がしみ出るところに群生する。

☺️ <清流広場にはその姿がみられます。>

茎はやわらかく、たくさん枝分かれをして広がる。

☺️ <本来なら6月に開花するものですが、黒川清流公園の環境が良いのでしょうか、4月中旬から11月末ごろまで見られます。水路沿いに多く見られます。>

カワセミハウス 立川絹代



▲ ミズキ



▲ クマノミズキ



▲ ミゾホオズキ

各種活動等の報告

黒川マイスター講座と黒川マイスターの活動

- 1/27(土) 黒川マイスター講座(公開講座)「生物多様性って、なに！」
講師は(NPO 法人樹木・環境ネットワーク)中西由美子さんでした。
- 1/28(日) 黒川マイスターの活動 環境分科会企画の「小池復活プロジェクト」に参加しました。
- 2/18(土) 黒川マイスター講座「黒川清流公園の自然を考える」講師は、カワセミハウス職員村岡明代でした。
- 3/3(土) 黒川マイスターの活動 公園散策とカワセミハウス裏の土手のスキの刈り取りを行いました。
- 3/16(土) 令和5年度(第6期)黒川マイスター講座の修了式。新マイスター6人誕生しました。
- 3/20(水祝) 環境分科会企画の「小池復活プロジェクト」に参加しました。

環境分科会の活動

- 1/28(日) カワセミハウス協議会環境分科会 小池復活プロジェクト第14回「小池の落ち葉かき出し作業」
- 3/16(土) 「つんで、つくって、たべよう!よもぎだんご」開催
- 3/20(水祝) 小池復活プロジェクト「池底の泥かき出し作業と周辺環境の整備」

カワセミハウスの企画開催イベント

- 1/13(土)~31(水) カワセミハウス写真展「日野の野鳥たち」講師は(日野の自然を守る会)小久保雅之さんでした。
- 1/28(日) みんなの環境セミナー「親子で楽しむ野鳥かんさつ」講師は(日野の自然を守る会より)小久保雅之さんと藤田淳子さん、そしてカワセミハウス職員村岡明代でした。
- 2/1(木) みんなの環境セミナー「黒川清流公園の冬をさがそう」(市民環境大学の公開講座として開催)
- 3/20(水祝) ワークショップ「鳥の巣箱をつくろう」
倒木の危険性があったために伐採したヒマラヤスギを材料に、市内の小学生親子11組が鳥の巣箱を作成しました。みなさん楽しそうにノコギリを使つての作業を行い、各々の巣箱を作っていました。

お知らせ

2024年度第16期市民環境大学の前期講座は6/6(木)から開講します。

2024年度第7期黒川マイスター講座は5/25(土)から開講します。

- カワセミハウス環境分科会の6月以降の活動予定
- ①6/2(日)~6/22(土) カワセミハウス環境パネル展
 - ②6/15(土) 「ホテルのゆうべ」
 - ③8/4(日) 観察会「川の生きものを探そう!」
 - ④8/18(日) 「藍の生葉で型染めをしよう」

黒川かわせみサロンの6月・7月・8月の開催予定日は次のとおりです。

- ①6/4(火), ②7/2(火), ③8/6(火)

学生団体C-plantによる「まるっと」の6月・7月・8月の開催予定日は次のとおりです。

- ①6/9(日), ②7/14(日), ③8/25(日)

実践女子大学須賀ゼミによる6月・7月のイベント開催予定は次のとおりです。

- ・くらし工房 ①6/18(火), ②7/5(金), ③7/15(月祝)
- ・布川ファーマーズマーケット ①7/27(土)

カワセミハウス協議会



2024年3月23日(土)『カワセミハウスお花見』を開催しました。令和5年度カワセミハウス協議会メンバーの交流を図ることを目的に、初めての試みで、カワセミハウスでのお花見を企画しました。当日は、桜の開花が間に合わなかったため、急遽室内で開催することとなりましたが、10団体・19名が出席し、交流を深めることが出来ました。

2024年度カワセミハウス協議会は、第1回目は5月11日(土)に、第2回目は7月27日(土)に開催されます。

カワセミハウス協議会主催の『オオブタクサ引き抜き大作戦』は、6月1日(土)に開催を予定しております。おおぜいの方のご参加をお待ちしております。

日野市立カワセミハウス

住所:〒191-0052 日野市東豊田 3-26-1

電話/FAX:042-581-1164

メールアドレス:

kawasemihouse@jcom.zaq.ne.jp

開館時間:9:00~21:30

休館日:毎週月曜日、年末年始

(月曜日が祝日の場合はその翌日)



アクセス:JR中央線、豊田駅から徒歩約7分
※駐車場はございません。

カワセミハウスの最新情報

- X (旧 Twitter)
- ID: hino_Kawasemi
- ◆カワセミハウス HP

URL
<http://www.city/hino.lg.jp/kawasemihouse/index>

